## 令和元年度の家庭ごみ有料化及び戸別収集に伴う歳入・歳出

令和2年7月28日 廃棄物減量等推進審議会 資料2-3

## 歳出

#### 指定収集袋関係経費 約2億500万円

指定収集袋の製造や流通に係る経費

- ①指定収集袋製造·配送費
- ②指定収集袋受注等委託費
- ③指定収集袋販売手数料



パンフレット関係経費 約1.000万円 ごみ出しに関するパンフレットに係る経費

**3 R推進経費** 約 1 億 3 . 7 0 0 万円

ごみの減量・資源化の推進のための事業費

- ①パンフレット・カレンダー作成費
- ②パンフレット・カレンダー配布費



# 歳入

廃棄物処理手数料 (家庭ごみ指定収集袋分)

約5億4.400万円

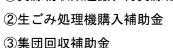
戸別収集委託料(増額分) 約1億9.200万円

戸別収集実施に伴い増額した収集委託料

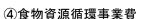
ごみ等収集運搬委託







①資源物収集運搬、再資源化等委託





## 令和元年度の指定収集袋 製造・配送数

		製造•配送数		
		サイズ別	合計	
燃やすごみ用袋	5リットル	1,147,660枚		
	10リットル	2,507,450枚		
	20リットル	3,929,930枚		
	40リットル	2,125,820枚		
燃やさないごみ用袋	5リットル	258,340枚		
	10リットル	310,290枚	15,465,090枚	
	20リットル	419,660枚		
	40リットル	352,490枚		
プラスチック製容器包装用袋	10リットル	1,069,350枚		
	20リットル	2,153,520枚		
	40リットル	1,190,580枚		

平成31年4月から令 和2年3月までに、各 取扱店へ製造・配送さ れた数及び公共施設 等での販売数は約 1.550 万枚。

燃やすごみ、燃やさな いごみ、プラスチック 製容器包装全てにお いて 20 リットル袋の 需要が最も多くなっ ている。

# 直近の有料化実施市の状況

	有料化実施時期	燃やすごみ ・燃やさないごみ 手数料(202の場合)	1人1日あたり 収集ごみ量(g)	多摩26市 順位
小平市	平成31年4月1日	40円/1枚	511.4g/日	25位
東久留米市	平成29年10月1日	40円/1枚	366.6g/日	5位
国立市	平成29年9月1日	40円/1枚	389.2g/日	10位
東大和市	平成26年10月1日	40円/1枚	409.8g/日	12位
立川市	平成25年11月1日	40円/1枚	355.5g/日	1位
国分寺市	平成25年6月1日	40円/1枚	361.3g/日	3位
府中市	平成22年2月2日	40円/1枚	362.9g/日	4位

※清瀬市は令和2年6月1日から手数料の改定を実施している(燃やすごみ、燃やさないごみ200の場合 20円/1枚→40円/1枚へ変更)

多摩地域 26 市のうち、直近(過去 10 年間)で有料化を実施した市を見てみると、ご みの減量が進んでいる(平成30年度数値のため、小平市は有料化実施前の数値)。